

診療担当表

令和5年4月から

診療科		月	火	水	木	金	土 第2・4休診
内科	午前	田原充 大橋正明 小林正明	田原充 大島俊夫 大橋正明	小林正明 大島俊夫	小林正明 大橋正明	田原充 小林正明	田原充 小林正明 第3・5大橋正明
	午後	田原充	大島俊夫 大橋正明 田邊佳代子 予約制	大島俊夫	大島俊夫(第2除く) 大橋正明 田邊佳代子 予約制	田原充 小林正明	
外科	午前	大澤明彦	高橋茂雄	大澤明彦	高橋茂雄	大澤明彦	第1 大澤明彦 第3 高橋茂雄
	午後	大澤明彦	高橋茂雄	大澤明彦	高橋茂雄	大澤明彦	
総合診療 外来	午前	結城 敬	結城 敬	結城 敬	結城 敬	結城 敬	結城 敬 第5
整形外科	午前	細谷知花	木村康成	堀越泰三	堀越泰三	隅田潤	隅田潤 (奇数月第3を除く) 由井睦樹 (奇数月第3のみ)
	午後	細谷知花 15:45まで	木村康成	堀越泰三 飯野潤二	堀越泰三	隅田潤	
胃腸科	午前	植竹智義				植竹智義	植竹智義
	午後			植竹智義		植竹智義	
呼吸器内科	午前		木村朗子				
循環器科	午後				第2 竹村隆広		
皮膚科	午前				第2・4 大倉俊雄		
小児科	午前	信州大学医師			信州大学医師		
神経内科	午前					高昌星	
肝臓外来	午前						山梨大学医師
眼科	午前			山梨大学 予約制			第1 山梨大学 第3 佐藤新兵 予約制
	午後		山梨大学 予約制				
泌尿器科 15:00~	午後	第2 佐久総合病院医師 柏原剛		第4 佐久医療センター 医師			
人間ドック	終日	大島俊夫	大澤明彦	植竹智義 高橋茂雄(健診)	山梨大学医師 大島俊夫	高橋 茂雄	

ご注意 ◆諸事情により、診療予定は変更することがあります。
◆予約に関するお電話は、月～金曜日の午後の時間帯にお願いいたします。(休診日は除く)



佐久穂町立 **千曲病院**

【発行・編集】佐久穂町立千曲病院 広報委員会

〒384-0613 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町328

TEL 0267-86-2360 FAX 0267-86-5427

【URL】 <https://www.chikumahospital.jp>

【E-mail】 chik-hpl@avis.ne.jp



千曲病院だより

千曲病院広報誌

VOL.12
春号

2023.3.16



MRIを導入しました

当院では3月より、MRIを導入いたしました。
MRIは磁場(強力な磁石の力)と電波を利用して体内を画像化する装置です。一般に関節や脳、骨盤領域などはMRIの方がCTより診断が付きやすいと言われております。また、MRIは放射線を使用していないので被ばくの心配はありません。検査時間はCTよりMRIの方が長く(部位により20~40分程度かかります。心臓ペースメーカーや人工内耳といった電子医療機器を装着した方のMRI検査は当院では行えません。気になる症状があり、検査を希望される方は医師へご相談ください。他医療機関からの検査もお受けしております。

千曲病院理念

『地域の人たちに信頼され、愛される病院』



佐久穂町立千曲病院での35年を振り返って

しかし、ちょうど新臨床研修制度に移行した時期にも重なり、大学からの派遣打ち切りの憂き目にも会いました。私が赴任した当初9人いた常勤の医局員は、最も少ない時で4人にまで減りました。在宅患者を100人ほど抱えておりましたので、病院の当直1名のほかに緊急往診のための自宅待機1名が必ず必要でした。連休は医局の体制にはかえって辛く、よくため息をついていたことを思い出します。この時期には、強化型在宅療養支援病院の届け出を行って、町内の開業の先生方と共同して、24時間365日をカバーできる体制をつくりました。開業の先生方にも一部の休日の自宅待機をお願いすることができました。

たまたまこの頃、横浜市立大学の同級会に出席したことがあり、医師不足のことをこぼした所、眼科で開業している友人が手伝いに来てくれたと言ってくれました。眼科開設に必要な診察台や機材もほぼ全部、予備にとっておいたものを運び込んでくれて、月2回の眼科診療が始まりました。その後友人は都合がつかなくなってしまうりましたが、後継者ができて今は白内障の手術もできるようになり、地域にはなくてはならない診療科になっています。離れていても同級生のありがたさを身に染みて感じた時でした。

院長になってから、国保のレセプトの審査の仕事が回ってきました。多忙の中、月に一度、一泊二日で長野まで出かけて審査に当たるのですが、多くの先生方と話ができたり、専門部会とって主に高額レセプトの審査を行う部署に配属されたので、医療の進歩に触れることができ、私自身の「何でもやる内科」の勉強にもなりました。しかし、その後入院医療費がDPCに移っていくにつれ、病状詳記がなくなってしまい、適応などで不明な点が多くなりました。連日のように血算・CRP・生化学検査をまとめて繰り返しているようなレセプトもあり、若手医師の教育の在り方が心配になりましたし、新しい手術が保険で認められるや、超高齢者にも適応が拡大されていく状況に、実態がわからないままもどかしさを感じておりました。

私の尊敬する先生に、元佐久市立国保浅間総合病院院長の倉沢隆平先生がいます。私が中小病院で仕事をする事の不安を話すたびに、「医療というのは生老病死を支える仕事であって、それは君たちのような病院のほうがやれることなのだから頑張らたまえ。」とか、「今の世の中は、すべての病気は治るものだという幻想にとらわれている。医師たちもすべての病気は治さなければならないといった幻想の中にいる。それでは患者さんたちは救われない。全人的医療を目指すことが大切なんだ。」といった言葉でいつも私を鼓舞激励してくれました。

17年前、佐久町は八千穂村と合併して佐久穂町となりました。合併当時1万3千人を数えた人口は、現在再び1万人ほどに減少しています。公立病院改革で当院も、近隣病院との合併を提案されましたが、ローカルな地域でせっかくまとまった医療福祉連携をつくってきたのですから、それが壊れてしまうことは大変もったいないと思います。ベッド数の削減などで縮小は仕方ないとしても、残していかなければと思っています。

70歳を超えた今、同級生からは分厚い業績集が送られてくるようになりました。私には業績集ありませんが、今も外来で「先生には元気でいてもらわないと困るんだよ」と、声をかけてくれる長い付き合いの患者さんたちがいて、医者が続けられることに幸せを感じています。

これからもこの地域に根差して、能力が衰えないように心を配り、全人的医療を目指した仕事を続けていきたいと思っています。

小林名誉院長が全国自治体病院協議会誌に寄稿した原稿を2回に分けて掲載いたします。

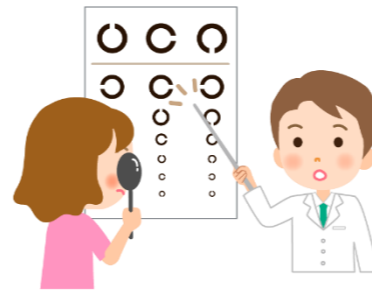
山梨大学医師による眼科外来の開設について

令和5年4月から、山梨大学医学部眼科学講座 櫻田庸一准教授のグループが、眼科外来を担当させていただきます。診療日等につきましては、現在と変更なく毎週火曜日の午後と水曜日の午前中の予約診療となり、併せまして毎月第1土曜日の午前中に予約診療をさせていただきますので、予約等につきましては特に変更なく受付させていただきます。



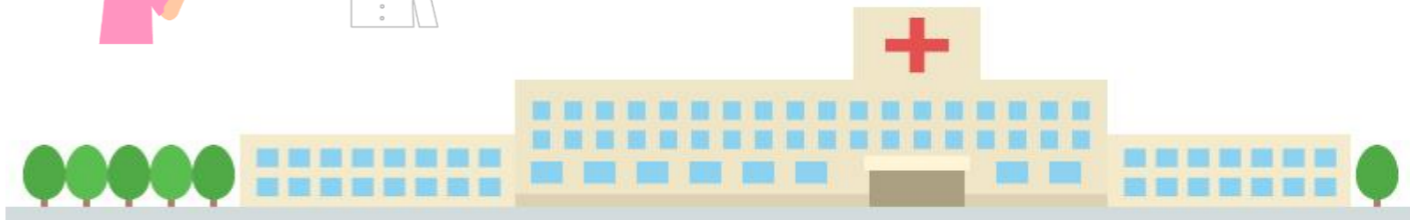
眼科にも様々な専門分野があり、それぞれの専門分野を担当されている医師が対応させていただきます。白内障以外の診療や治療にも、診療分野の拡大をしていく予定です。また、必要に応じ他の医療機関にもスムーズに紹介させていただくことも可能となります。

受診ご希望の方は、☎86-2360へお気軽にお問い合わせください。



診療日

火曜日（午後）、水曜日（午前）
毎月 第1土曜日（午前）
※祝日、年末年始を除く



Topics トピックス

新型コロナウイルス患者さんの受け入れについて

当院では、2020年12月末より新型コロナウイルス感染症の患者さんの受け入れを適時行っております。

新型コロナウイルス感染症により入院が必要と診断された患者さんは保健所より入院依頼があり、感染拡大時には佐久広域全体からの入院が多くありました。院内では、新型コロナウイルス感染症に対する手順書を作成し、感染対策に取り組みながら診察、看護を行っております。

